

癩瘡除神方



清朝吳春山弘此方

服部文庫
117
1934



117
1934

稀痘神方



凡嬰孩無論男女用肥大光潔川練子
 一歲至三歲者七個白內搗爛水以三
 碗新砂鍋煎濃傾入盆內避風處將新
 稀白布一方蘸水自頭至足遍身洗滌
 不留餘空仍將布拭乾避風一刻四五
 歲者用川練子九個水五碗六七歲者
 用川練子十五個水七碗八歲至十歲
 用川練子二十個水九碗十一歲至十
 五歲者用川練子三十個水五碗
 煎濃擦洗搗藥忌鐵器非但不出痘
 還能免痘癩若不信或午或足留一處
 倘出時必聚一塊此係神效仙方

此方係新安吳春山先生作宦時
 子俱患痘殤而歿齋戒虔詣

城隍廟夢神授此方後娶妾連生二
 子即照方洗浴後俱長成深感神效
 刊佈庚辰年吳義豐在楚地見痘疫流

五歲者用川綫子三十個水五碗煎
煎濃擦洗搗藥忌鐵器非但不出痘
還能免痘癩若不信或午或足留一處
倘出時必聚一塊此係神效仙方

此方係新安吳春山先生作宦時
子俱患痘殤而歿齊戒虔詣

城隍廟夢神授此方後娶妾連生二

子即照方洗浴後俱長成深感神效

刊依庚辰年吳義豐在楚地見痘疫流

行刊刻佈送救活萬萬嬰孩有孫男

女者五亦照此方洗浴左右隣家俱出

惟予家不染具見神方之靈驗矣

凡洗浴須擇七個除日洗次如丑月至

八月初止內有七個除日俱在執天更

妙倘

仁人長者見方廣傳則陰德不淺矣

壬辰仲夏

桂香集敬刊

更宜惜字

稀痘神方和解

此神方ハ男女に限らず當萊ヨリ三歳までの小兒ハ

実入り此川糸子見たんのナツ粒と多くみ白く搗碎き

古鍋ニテ水をい入濃煎一布きれに漫頭を敷

布のよりちく搗洗ひを布ニテぬぐひ日のおもぬ

行人長者見方廣傳則陰德不淺矣

壬辰仲夏

桂香集敬刊

更宜惜字

稀痘神方和解

此神方ハ男女に限らず當萊ヨリ三歳まで小児ハ
実入シミイリ川練子セニレニシ実たんの七粒と多ク白く搗碎き
古鍋ニテ水ニをい入濃煎コウセシ一布きれに浸頭ヒタツ方熱
牙ミシのよりなく搦洗ひを布ニテぬぐひ月のおもぐぬ

所カコラス一花カコラス川練子セニレニシと碎クダクハ鐵器テツキと三粒一ロム菜
の小児ハ九粒ニ水五盃と入シ七ハ歳ハ十五粒に七盃

八歳より十歳チまでハ二十粒に九盃十一歳より十五

歳までハ三十粒に十五盃と日ユ二洗ハ磨コヨミの中チ候
除ノクト云日ヲ多クみ七度洗ス若モシ九月ク和ハ八月ハ區クの

内ウチニテ是コトヲ行ユハ功コト能ク行クに妙也ミウ也ナリ餘ヨリの月ツキニテ七
除ノクの日ヒと日ヒひてス七ナ日ヒ留ス洗スふルにて毎年メイトシかくのこトく

此コノハハ取リてスりテ也ナリ方カタと用ユユレハハ痘ウ瘡ソウと免メ乃ナラこトを
法ホウの毒ドク瘡ソウにも際サヘりテをサぎトいハ痘ウ瘡ソウ瘡ソウするルも必カナラ転カ之キ

りシあれトと信シ用ヨウ信ヨウ多タくハ試シにヒ是コトの月ツキ一ヒト所トコロ洗ス妙
方カタ方カタハ唐土タウツ新ニあニ是コト春山ハルサント人ヒト三人サンニの子コられル也ナリ

仕負シタルルユヘ城隍ウツカミ乃ナラ廟ヤニロに祈イノて靈夢レイムに授オツカりテ後
二人フタヒトの子コ此コノ神方シムカタにヒりテ恙ヤスなクりシ也ナリ

此コノにヒ方カタと弘ヒロメテ其ソノ後ノチ清朝シヤウ乾隆ケンレン二十ニ日ヒ年ネンに吳ゴ

按ア吳ゴ春山ハルサン義豊ギホウト云人ヒト楚國ソコクに在ア在ア勅チキ乃ナラト此コノ痘瘡ウソウ多タ所トコロ也ナリ
名ナ義ギ豊ホウト云人ヒト楚國ソコクに在ア在ア勅チキ乃ナラト此コノ痘瘡ウソウ多タ所トコロ也ナリ

仕負タルニ、城隍乃廟に祈て靈夢に授りて後

二人の子此神方に有り恙有りしハ、神効と感シ

世には方と弘り其後清朝乾隆二十二年に吳

按吳春山字而義豐名效

義豊ト云人楚國に在勅乃ト此危瘧多行し

姓ハ桂名ハ香集箱列の人ニ孫五人有りて四方と用一に西隣の山と

病付多れども桂戎の小児ハ皆け神効に由りて終

余嘗て唐人に種痘法の功驗と聞其術と

我國に弘めんことを願ひしが今年乃交王

履階より來崎の船主ハ繩表に托して此

神方と贈り種痘科の醫後海のりハ容易

行きて多ハ後と効る事ハ亦も洋に正

讀易譯してそと何れに弘ん事余

安永己未七月譯司

長崎林魁梅卿澤刊并誌

老筆物忘ホ仕札子所免つらん

川友々々

六月晦日

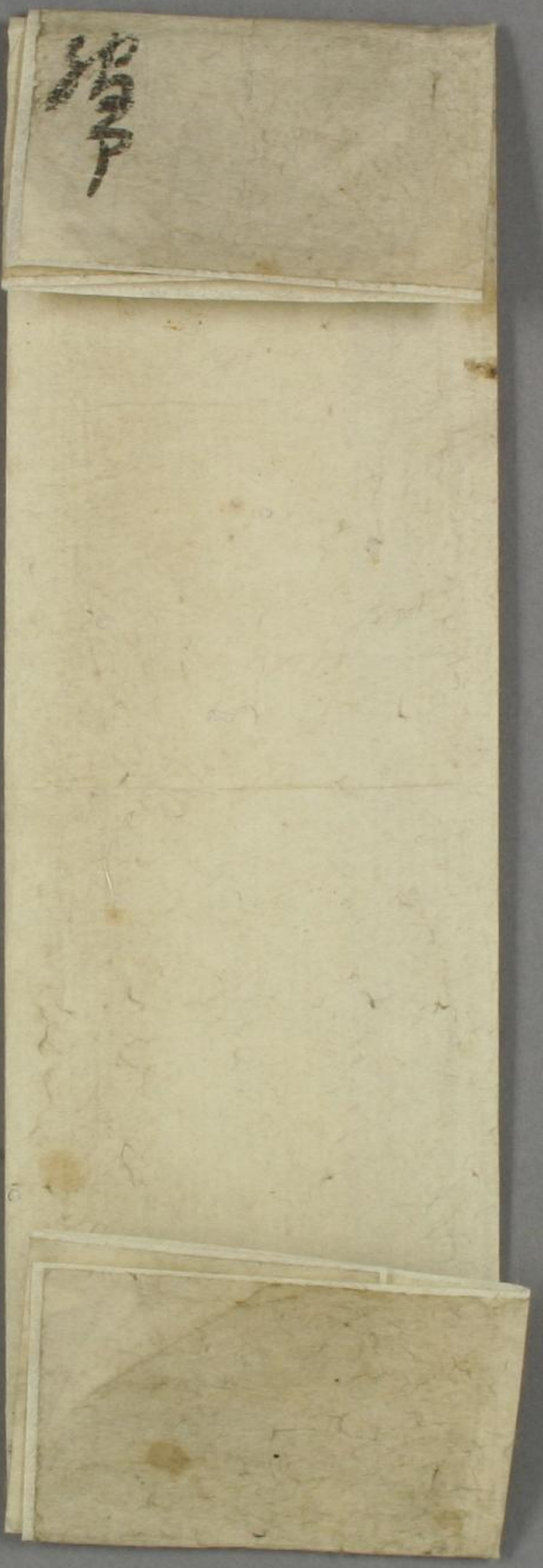
依此なる故

在族

the

the

the



巻下